

〔正賞 学術文化部門〕

- にしま・さんけい
1. 氏名 西間 三馨
 2. 年齢 79歳 ※2023年11月3日時点
 3. 肩書 国立病院機構福岡病院名誉院長
 4. 住所 福岡市



【受賞理由】

半世紀にわたって臨床の現場に立ち、子どものアレルギーやぜんそく治療の進歩に貢献した。

ぜんそく児の心肺機能強化のための水泳教室やサマーキャンプを全国で初めて導入した。全ての国民が標準的な治療が受けられるよう、ぜんそくやアレルギー疾患の診断、治療のガイドラインを策定したほか、ぜんそくの吸入ステロイド療法の普及にも力を入れた。ぜんそくによる死亡者数はガイドライン策定後に半減している。

2015年施行のアレルギー疾患対策基本法の制定にも力を入れ、国や地方自治体による医療体制の整備や治療法開発、学校での教育の推進につながった。国立病院機構福岡病院の院長時代には、重症心身障害児・者病棟の閉鎖的環境の改善に取り組んだ。功績は多岐にわたり、多大である。

【主な役職と受賞歴】

1995年	日本小児臨床アレルギー学会理事長（～2000年）
1997年	日本小児アレルギー学会理事長（～2005年）
2007年	日本アレルギー学会理事長（～2009年）
2008年度	第21回人事院総裁賞 個人部門
2008年度	国立病院機構理事長表彰
2011年度	環境大臣賞 環境保全功労者表彰
2013年	WAO（世界アレルギー機構） Outstanding Clinician Awards
2020年	WAO Special Award
2022年	瑞宝中綬章受章